



「赤心」

「おはよう」と挨拶すれば笑顔出る

# 校長室だより

No.3 (通算15号)

6/3 (木)

文責 田中 敏子

早いもので6月に入りました。新緑が目まぶしく映ります。

学校の中は、6月5日(土)の校庭運動会に向けて活気があります。

先週は、雨の日が続いたので練習日程が変更になり心配していましたが、今週は好天続きで、最終段階に入った練習に取り組んでいます。



(出番を待つ万国旗)

昨年、私は大玉送りで2連敗しました。今年は大玉送りで勝ちたい

と思って時間の許す限り練習に参加しています。しかし、正々堂々

と力一杯やっている子どもたちの姿を見ると、勝敗のことを忘れ

て旗を振り応援してしまいます。(6月2日現在 練習の成績は2勝3敗)

大勢の皆様のご来校をお待ちしています。

6月は、安茂里地区全体で挨拶運動に取り組んでいます。

いつでもどこでも気持ちの良い挨拶をしたいものですが、なかなかできずにいた子どもたちにとっては、地域全体で取り組むこのような運動は、大きな声を出すチャンスです。



ひがしこうしやしょうこうぐち (東校舎昇降口)



みなみこうしやしょうこうぐち (南校舎昇降口)

## 運動会 勝利に向かって はばたこう!

今年度のスローガン

どのような姿が「羽ばたく自分の姿なのか」

めあて・目標をしっかりと持って、運動会に向かって取り組んでほしい

と願っています。自分が一生懸命やっていたら、友達の本気にも気づけるのではないかと、感じるのではないかと…そう思います。

運動が得意な子、走るのが得意な子がいれば、運動が苦手、特に走るの苦手という子もいます。苦手な子どもにとって、運動会は楽しくはないかもしれません。

頑張っ、これ以上ないほど頑張っているのに、「もっと頑張れ」なんて言われたら、悲しくなってしまいます。

先頭を走り、誇らしげにテープを切る子の晴れやかな笑顔。一番後ろを、歯を食いしばって最後まで力を抜かず走る子の一生懸命な表情。どちらも素晴らしい。

その子の頑張り、輝く一瞬を見逃さずにとりたいと思います。

子どもたちの体調管理、運動着の用意や洗濯など、ご家庭のご理解ご協力には、いつも感謝しております。

学年・学級の様々な準備等で、お願いすることが多かったのではないかと思います。

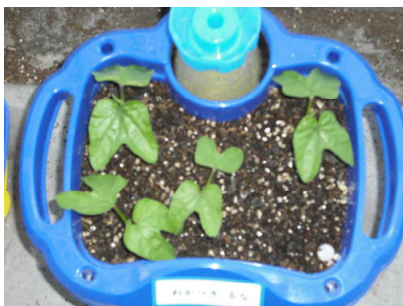
4日(金)前日準備のご協力も、よろしくお願ひします。



4年生の廊下の「めあて」

# うれしいな…

「<sup>が</sup>つ<sup>き</sup>ゆ<sup>う</sup>・<sup>が</sup>く<sup>ね</sup>ん<sup>だ</sup>よ<sup>り</sup>」を<sup>よ</sup>ん<sup>だ</sup>り、校<sup>こう</sup>内<sup>ない</sup>を<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>り<sup>み</sup>て見<sup>み</sup>たりして心<sup>こころ</sup>が温<sup>あた</sup>かくなる時<sup>とき</sup>



## 1年生…あさがおの芽が出始めました！

「先生、わたしのあさがおの芽がでているよ！」  
「はっば、ハートみたいでかわいいね！」  
「なんだか、はっばは ゆれながら うたっていた！」

## 2年生…毎日、野菜畑を見えています。

きょうは、やさいば<sup>み</sup>たけを見<sup>み</sup>ました。あたらしくはえていたのは、もろこし<sup>み</sup>でした。きゅうり、トマトのところには、ともひろくんのおばあちゃんが、しちゅう<sup>み</sup>をたててくれました。



新聞紙の霜よけ



支柱

## 3年生…ありの行列 “畑仕事（畝作り）の後の出来事”（）は担任

「ありが<sup>ぎ</sup>行列<sup>れつ</sup>作<sup>つく</sup>ってる。」（国語で勉強したので、行列という新しい見方ができるようになったね。）  
「えさを運<sup>は</sup>んでる！」（何かの幼虫のようです。） 「助け<sup>たす</sup>な<sup>な</sup>きゃ！」（えー！）  
「だめだよ。」（そうそう。） 「だって生きて<sup>い</sup>る<sup>すこ</sup>少し動<sup>うご</sup>いたもん。」（死んでいると思うんだけど。）  
「あり<sup>あ</sup>り<sup>い</sup>だって、これを食<sup>た</sup>べて生きて<sup>い</sup>るんだよ。」（なるほどね。）  
「人間<sup>にんげん</sup>だって、ぶ<sup>た</sup>たを食<sup>た</sup>べるでしょ。いっしょだよ。」（・・・）  
「ごめんね、幼虫<sup>ようちゆう</sup>さん。助<sup>たす</sup>けてあげられなくて…。」（本当は、こんな気持ちだったんだろうな。生きて<sup>い</sup>る<sup>すこ</sup>って<sup>い</sup>うことを、自分<sup>じぶん</sup>だけの<sup>ひろ</sup>ことではなく、もっと<sup>ひろ</sup>広い見<sup>み</sup>方を<sup>おも</sup>しは<sup>おも</sup>じ<sup>おも</sup>め<sup>おも</sup>て<sup>おも</sup>ているんだな<sup>おも</sup>あ<sup>おも</sup>と思う<sup>おも</sup>出来<sup>おも</sup>事<sup>おも</sup>で<sup>おも</sup>した。私<sup>わたし</sup>たちは、命<sup>いのち</sup>を<sup>い</sup>た<sup>い</sup>だ<sup>い</sup>いて<sup>い</sup>生きて<sup>い</sup>ます。今日<sup>きょう</sup>の出来<sup>おも</sup>事<sup>おも</sup>は、そのことを強<sup>つよ</sup>く印<sup>いん</sup>象<sup>しやう</sup>づけて<sup>おも</sup>くれました。）



## 4年生…助け合い

（いつもと教室メンバーが違うなあ）  
「今日<sup>きょう</sup>、〇〇ちゃん<sup>ちが</sup>は、応援<sup>おうえん</sup>団<sup>だん</sup>の練<sup>れん</sup>習<sup>しゆう</sup>に行<sup>い</sup>っているから僕<sup>ぼく</sup>がやる。」  
「◇◇くん<sup>ひとり</sup>、あと<sup>あと</sup>は一人<sup>ひとり</sup>でほうきをや<sup>や</sup>ってね。私<sup>わたし</sup>は雑<sup>ぞう</sup>巾<sup>きん</sup>をやるから。」  
（人<sup>ひと</sup>が少<sup>すく</sup>ないなあ）  
「何<sup>なん</sup>で人<sup>ひと</sup>が少<sup>すく</sup>ないの？」 「今日<sup>きょう</sup>、△△くん<sup>ほうそうとうばん</sup>は放<sup>ほう</sup>送<sup>そう</sup>当<sup>とう</sup>番<sup>ばん</sup>だから。」

## …友達の姿

4時間目は社会の授業をやりました。私は、いつも、ゴミを出す時に、お母さんに出してもらっているので、少ししかゴミのことをわかりませんでした。〇〇くんが、先生の質問にどんどん大きな声で答えていました。〇〇くんは、いつも、ゴミを自分で出しているそうです。

5年生、6年生その他については、次回に紹介したいと思います。（紙面が足りなくなりました。）